

ULVAC

株式会社 アルバック

ULVAC, Inc.

会社案内

Corporate Profile

ULTIMATE IN VACUUM

真空の  
極限を追求する

2024 - 2025

ULVAC

株式会社 アルバック

〒 253-8543

神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地

TEL: 0467-89-2033

[www.ulvac.co.jp](http://www.ulvac.co.jp)

UD  
FONT  
by HIRAGINO

0113N2024093000DNP

# ココニモ、アル。

アルバックの真空技術



アルバックの経営基本理念は「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」です。製造装置メーカーであるアルバックの製品を一般の方々が見る機会はほとんどありませんが、真空技術や装置を使って作られる製品は、人々の暮らしと密接なつながりを持っています。私たちは真空技術により、これからも社会から必要とされる企業であり続けます。

## TOP MESSAGE

# イノベーションの創出で 産業と科学の発展に貢献し、 豊かな未来を創造する

アルバックは1952年、日本ではまだ真空技術が普及していなかった時代に創業しました。「真空技術で産業と科学の発展に貢献しよう」と、若い研究者たちが立ち上げたベンチャー企業だったのです。現在では、真空装置、コンポーネント、材料、分析機器など多様な真空技術を持ち、研究開発、製造、販売、カスタマーサポートを総合的に提供する真空総合メーカーに成長しました。これからも最先端のイノベーションを実現し、あらゆる産業で必要とされるアルバックであり続けたいと考えています。今後も皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

岩下 菊生

## BASIC CORPORATE PHILOSOPHY

アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す。

## ULVAC

### 社名の由来

アルバック(ULVAC)とは「Ultimate in Vacuum」のULとVACを合わせた造語で、「真空の極限を追求する」という意味です。新たなステージへの飛躍を念頭に、真空技術を補完する新技術分野への取り組みを活発に行いながら、アルバックブランドをさらに進化させてまいります。

## HISTORY

創業から70年以上、時代の産業構造の変化に応じて真空技術をコアとした新しい技術の創造に果敢に挑戦し、産業の復興や高度成長を支えてきました。市場の変化に伴い積極的にグローバル化を進め、海外売上比率は約7割となっています。「真空技術で産業と科学の発展に貢献したい」という創業当時の若い研究者たちの熱い思いはアルバックのDNAとして、今もなお、受け継がれているのです。

**1952** | 日本真空技術株式会社設立  
| 白光舎(現 市光工業(株))から自動車部品のメッキ用真空蒸着装置を初受注

**1955** | 大森工場を開設、  
国産装置の製造に着手



**1959** | 横浜工場を開設

**1960** | 真空溶解炉や真空蒸留装置など重厚長大産業向け大型真空装置を次々と開発

**1964** | アルバック初の海外現地法人を香港に設立

**1968** | 神奈川県茅ヶ崎市に本社・工場完成

**1972** | アルバック初の本格的な研究機関として超材料研究所を開設

**1975** | IBMより世界初全自動真空蒸着装置「システム731」受注



**1986** | 世界初のマルチチャンバ型スパッタリング装置「MCHシリーズ」が多くの半導体メーカーから好評を博す



**1988** | ハードディスク向け製造装置「SHDシリーズ」が世界的にヒット

**1990** | 半導体製造装置の専門工場として富士裾野工場を開設

**1992** | FPD事業の礎を築いたLCD用枚葉式成膜装置「SMDシリーズ」をリリース



**1995** | 中国に真空ポンプの生産拠点、韓国に販売・サービス拠点を設立

**2001** | 半導体電子技術研究所を開設  
| 社名を株式会社アルバック(英文名 ULVAC, Inc.)に変更

**2004** | 本社・工場(茅ヶ崎)新社屋完成



| 東京証券取引所市場第一部上場  
| 中国蘇州に本格的な真空装置の生産拠点を設立

**2005** | 韓国に大型ディスプレイ製造装置の大規模生産拠点を設立

**2006** | 台湾に大型ディスプレイ製造装置の生産子会社を設立

**2007** | 材料の開発・製造を担う千葉富里工場を開設  
| 薄膜太陽電池一貫製造ラインを受注

**2011** | 韓国に韓国超材料研究所を設立

**2015** | 未来技術研究所を設立

**2016** | 愛発科真空技術(蘇州)有限公司で大型ディスプレイ用装置の製造を開始

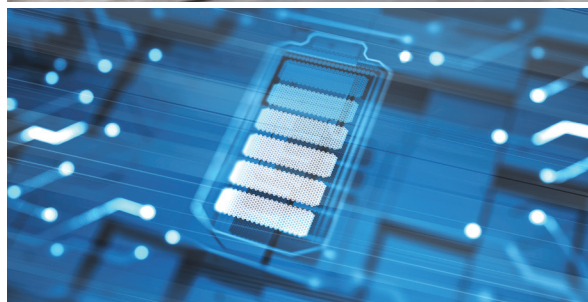
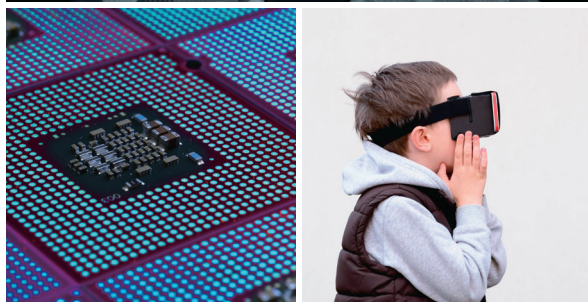
**2018** | 大阪大学内にアルバック未来技術協働研究所を開設

**2021** | 東京工業大学内にアルバック先進技術協働研究拠点を開設

**2022** | 創立70周年を迎える

**2024** | 韓国にTechnology Center PYEONGTAEKを設立





## 半導体及び 電子部品製造装置



あらゆるものがインターネットにつながるIoT、膨大なデータを分析し新たな価値を生むビッグデータ、高度・高速情報処理技術が作る生成AI、自動運転やEV化が加速的に進化する次世代自動車など、新たな社会・産業構造の実現が始まっています。これらの技術革新を支えるメモリ、ロジック、パワー半導体、アナログ半導体、MEMS、通信デバイス、オプトデバイスなど様々な用途、製品の開発、生産にご利用いただける装置をグローバルかつタイムリーに提供するため、研究開発と技術・生産革新を続けています。



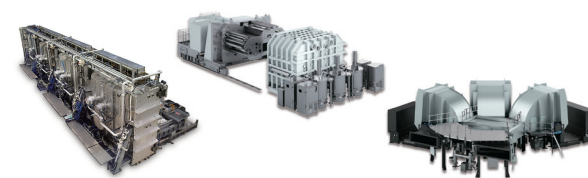
- 半導体（メモリ、ロジックなど）製造装置
- 電子部品（パワー半導体、MEMS、通信デバイス、オプトデバイスなど）製造装置
- 電子実装装置（WL-CSP、FoPLPなど）

## ディスプレイ・ エネルギー関連 製造装置※1



真空及びその周辺技術を総合利用した先進的な製造ソリューションの提供を目指しています。社会課題を解決するために、EV/バッテリー部材製造用の巻取式成膜装置や、スマートフォン・パソコン・タブレット・TVなどのディスプレイ製造用の成膜装置を提供しています。巻取式成膜装置で製造される部材は、バッテリーの軽量化、安全性向上、省資源化の実現に貢献します。また、ディスプレイ製造装置は、スマートフォンやタブレットなどの軽量化と省資源化の実現が期待されます。多様化する社会課題の解決に向けた装置の開発、製造、販売、サポートを一貫して行い、お客様のご要望にお応えします。

※1 2024年7月よりFPD製造装置から名称を変更しました。

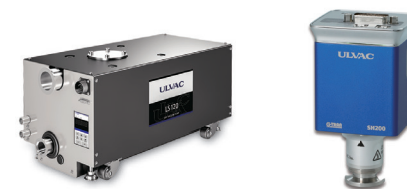


- 巻取式（蒸着、スパッタリング）装置
- 液晶ディスプレイ製造装置
- 有機ELディスプレイ製造装置

## コンポーネント



私たちの生活は真空技術、低温技術を利用した製品に囲まれています。たとえば、スマートフォンや電子部品などの製品を作る過程で、真空技術、低温技術が不可欠です。アルバックは、真空をつくる「真空ポンプ」をはじめ、真空（圧力）を測定する「真空計」、真空中のガス種を測定する「プロセスガスモニタ」、真空を維持するために漏れを調べる「ヘリウムリークディテクタ」、また、各種成膜装置用電源、クライオポンプ、低温機器など、付加価値の高い製品を顧客満足のためにグローバルに提供しています。

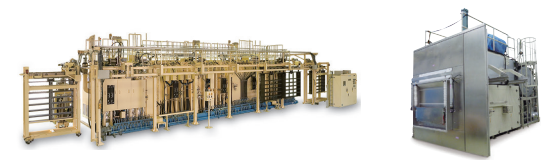


- 真空ポンプ
- 真空計
- ヘリウムリークディテクタ
- プロセスガスモニタ
- 成膜コントローラ
- 各種成膜用電源
- 真空バルブ
- 真空搬送ロボット
- クライオポンプ
- 低温機器
- リークテスト装置

## 一般産業用装置

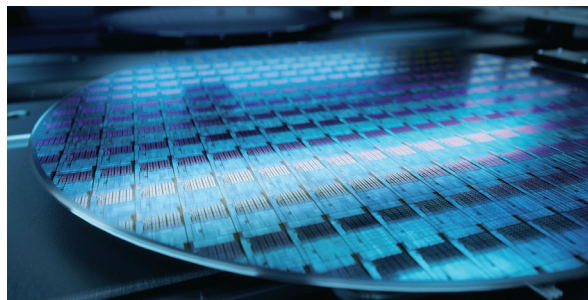


創業から金属業界、自動車業界、家電業界など、常に時代にフィットした装置や技術を提供し、様々な産業の発展に貢献してきました。現在では、これまで培った基盤技術を駆使して、EV駆動モータに使われる希土類磁石の真空溶解炉や真空焼結炉、タンタルコンデンサ製造用真空焼結炉、各種熱交換器製造用真空ろう付け炉、シリコンウェーハ製造用拡散炉などを手掛けています。また、ライフサイエンス分野においては、医薬品用凍結真空乾燥装置など、幅広い産業や分野に多彩なソリューションを提供しています。



- 真空熱処理炉
- 真空ろう付け炉
- 真空溶解炉
- 凍結真空乾燥装置
- 微噴凍結乾燥装置

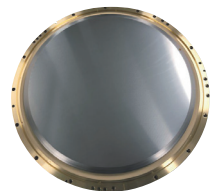




## 材料



真空技術に関わる高品質、高性能な先端材料を提供しています。市場のニーズに対応した半導体、電子部品やFPDの成膜プロセスで使用される薄膜材料(主にスパッタリングターゲット)を開発、製造、販売しており、お客様の最先端デバイスの開発、生産に貢献しています。高機能材料分野では、電子部品、化学産業、医療産業、加速器などに使用される高融点活性金属材料(タンタル、ニオブなど)の開発と、通常扱いが難しいとされる高融点活性金属部品の溶解、加工、製造をお客様のご要望に合わせて行っています。



- スパッタリングターゲット材料
- 高融点活性金属材料及び部品製作
- ナノメタルインク

## 表面分析装置、マスクブランクス<sup>※2</sup> 他



真空を応用した製造装置から派生する関連技術を活かし、様々な産業分野に技術を提供しています。分析装置関連では、最先端材料の研究開発や製品の品質管理に欠かせない表面分析装置を開発、製造、販売しています。制御システムでは、自動車業界を中心に産業機械用駆動制御装置の製造、販売を行っています。また、半導体の製造に欠かせない、リソグラフィ工程の重要部材である半導体用マスクブランクス及びFPD用大型マスクブランクスを開発、製造、販売しています。

※2 半導体集積回路の製造において、回路を転写する原版のこと。



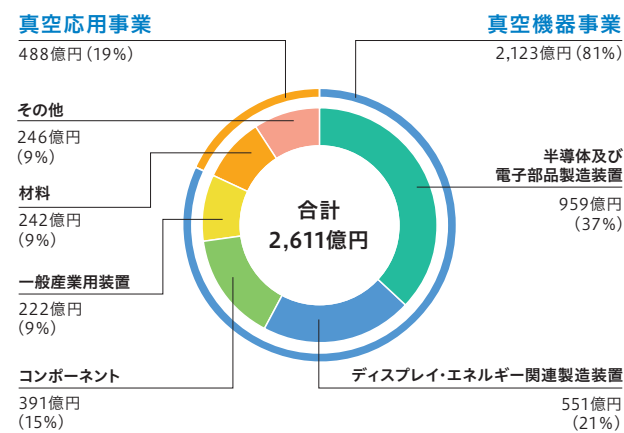
- 表面分析装置
- マスクブランクス 他

## CORPORATE DATA

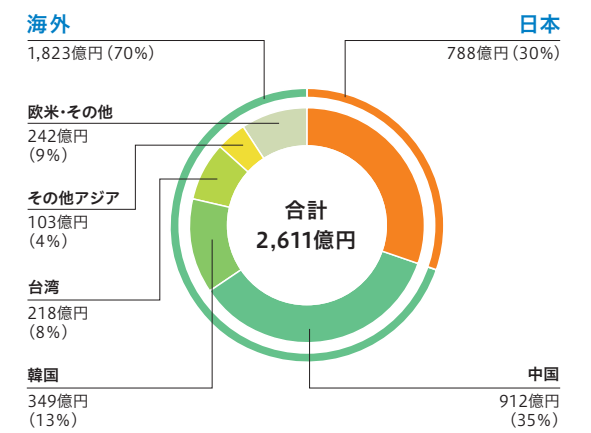
2024年6月30日現在

|      |                                                                                                                                |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号   | 株式会社アルバック<br>ULVAC, Inc.                                                                                                       |
| 商標   | ULVAC                                                                                                                          |
| 本社   | 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地                                                                                                               |
| 設立   | 1952年8月23日                                                                                                                     |
| 資本金  | 208億7,304万2,500円                                                                                                               |
| 売上高  | 連結 2,611億1,500万円(単体 1,081億9,300万円)                                                                                             |
| 従業員数 | 連結 6,234名(単体 1,680名)                                                                                                           |
| 事業内容 | ディスプレイ・半導体・電子・電気・金属・機械・自動車・化学・食品・医薬品業界及び大学・研究所向け真空装置、周辺機器、真空コンポーネント、材料の開発・製造・販売・カスタマーサポート及び諸機械の輸出入。<br>また、真空技術全般に関する研究指導・技術顧問。 |

### 事業別売上高



### 地域別売上高



(注) 記載された金額は四捨五入しておりますので、各項目の合計値が一致しない場合があります。

ULVAC WORLDWIDE

日本国内はもとより、欧米・アジアを中心に、  
グループ会社と連携し、地域ごとに最適な販売、  
サービスネットワークを構築しています。  
研究開発から、製造、販売、カスタマーサポートまでを  
一貫して行う世界最大級の真空総合メーカーとして、  
これからも真空技術を通して世界の産業と  
科学の発展を支え続けます。

- (株) アルバック拠点
- 国内グループ会社拠点
- 営業・サービス拠点
- 研究開発拠点



Global Network

